

# 赤岡中学校経営全体計画

## 【学校教育目標】

夢 愛 希望

夢(将来の展望) ⇒ みんなでひろげよう  
 愛(自分、仲間) ⇒ みんなでつながろう  
 希望(夢の実現) ⇒ みんなで生かそう

### 【めざす生徒像】

◎自己指導力の身についた生徒  
 ・自他を大切に、仲間とともに協力・奉仕できる生徒  
 ・基礎学力を身につけ仲間と学びあえる生徒  
 ・将来への展望をもって自ら学び、根気強く努力する生徒  
 ・豊かな感性と健やかな体をもった生徒  
 ・素直で礼儀を重んじ、挨拶・返事のできる生徒

### 【めざす学校像】

◎安心・安全・安定した学校  
 ・生徒が生き生きと活動し、自ら学びたくなる学校  
 ・安全で、自分を成長させてくれる学校  
 ・保護者が子どもを通わせたい学校  
 ・地域に感謝し、貢献できる学校

### 【めざす教師像】

◎一歩前進し尊敬される教師  
 ・愛情を持って生徒の意欲、可能性を引き出し鍛えることのできる教師  
 ・授業で勝負する教師  
 ・豊かな人間性と指導力の向上に努める教師  
 ・教育公務員として自覚と誇りをもち、生徒・

## 研究主題

『主体的・対話的に学び合い、自ら表現する授業づくり』

### 豊かな心の育成

#### 【中期経営目標】

○自尊感情の育成・「ほめる」・生徒の相互評価  
 ○人権教育、道徳教育を推進し豊かな人間性と確かな人権感覚の育成  
 ○基本的な生活習慣の確立

#### 【短期経営目標】

①学級活動や生徒会活動を通して自己肯定感の育成や共感的な人間関係づくりを進める。  
 ②「考え議論する道徳」の研究実践を推進する。  
 ③【聴く】【考える】【語る】ことのできる生徒の育成を目指し、授業や学級経営の充実を努める。  
 ④人権教育を推進し、自尊感情・共感的に理解する力・人間関係調整力・人権感覚を育む。  
 ⑤体験的な学習、ボランティア活動、地域との交流などを一層すすめて、人とのかわりを豊かにし、その活動ぶりを紹介する。  
 ⑥基本的な生活習慣の確立に努める。

### 学力の定着と向上

#### 【中期経営目標】

○基礎学力の定着をめざし、学ぶ意欲を高め、粘り強く取り組む生徒の育成  
 ○授業規律の確立と家庭学習の習慣化  
 ○生徒指導の三機能を高める授業づくり

#### 【短期経営目標】

①生徒にとってわかる楽しい授業を創造して基礎学力の定着を図る。「赤中授業のスタンダード」  
 ○授業評価システムの活用  
 ○書く力の育成  
 ②【聴く】【考える】【語る】【交流】することのできる授業を実践し、コミュニケーション力を育成する。  
 ○多様な意見を引き出し、絡み合わせる授業  
 ③朝読書・赤中タイム・放課後補習の充実  
 ④キャリア教育を充実し、将来に夢や希望をもった生徒を育てる。  
 ⑤家庭学習の習慣化に努める。  
 ○宿題・家庭学習ノート・学習委員会活動の取り組みを充実させる

### 信頼される学校

#### 【中期経営目標】

○保護者や地域との信頼関係  
 ○積極的な情報発信  
 ○地域に貢献できる学校

#### 【短期経営目標】

①保護者や地域に対して学校・学年・道徳通信等により、積極的に情報発信を行う。  
 ②参観日などの学校行事への保護者の参加が昨年度以上になるよう工夫する。  
 ③生徒にとって安全で安心できる学校体制づくりを行う。  
 ④学校運営協議会・学校評価を活用し、保護者や地域のニーズを反映する。  
 ⑤地域・城山高校との避難所運営訓練など防災学習や人権学習を充実させ、保護者や地域の方を巻き込む実践を行う。  
 ⑥PTA活動の活性化。

## 【目標達成の具体的方策】(取組の重点)

- 1 すべての教育活動に生徒指導の三機能を位置づけた取組を、組織的・協働的に展開する。
- 2 教員が3チームに分かれ、定期的にチーム会を開き、組織的に授業改善を行い授業力向上を図る。
- 3 生徒一人ひとりに居場所と出番を与え、活動させ、成功体験と役立つ喜びを体感させる。それを肯定評価し認める活動を実践する。
- 4 家庭学習の定着と放課後加力学習の取り組みを強化する。(学習委員会活動・家庭学習ノート・定期テストへの取り組み等)
- 5 共感的な人間関係が構築された学級づくりを推進し、人権が尊重される人間関係・学習環境・生活環境の充実に取組む。
- 6 「考え議論する道徳」の研究実践を推進する。
- 7 生徒会・専門委員会活動などにおいて、生徒が主体的に活動し、達成感や自己肯定感・自己有用感、共感的な人間関係を育てる。
- 8 コミュニティスクールによる、学校運営協議会を年間4回開催する。
- 9 赤中地区教育懇談会を中心とした連携教育を充実する(教員の相互乗り入れ、授業研究、児童生徒の交流活動、教職員の交流活動)。
- 10 南海トラフ地震等に備え、防災意識を高め、地域と共に避難訓練等の防災教育を推進する。